

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区	地区内集落	作成年月日	直近の更新年月日
八幡浜市	喜須来	神越、城高、町、磯岡、須川里、日之地、奥	令和3年3月22日	令和 年 月 日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	273.9	ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	195.8	ha
③地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計	43.4	ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	14.5	ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.1	ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.19	ha
(備考) ・中心となる経営体は45経営体。 ・5年後に経営規模拡大を計画している中心経営体は、6経営体、拡大予定面積2.49ha。		

2 対象地区の課題

<input type="checkbox"/> 現在の耕作・維持管理	比較的、耕作・維持管理できている農家が多い。
<input type="checkbox"/> 農業後継者・高齢化	後継者が多いが、それ以上に高齢化が進んでいる。 10年は現状維持できそう。
<input type="checkbox"/> 今後の地域農業の担い手	新たな担い手が少ない。
<input type="checkbox"/> 新たな農地の受け手確保の必要性	必要。(同地区内での確保希望)
急斜面の農地は、作り手がいなくなる。 割と基盤整備ができているが、今後も望む声が多い。	

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

・中心となる経営体に農地を集約化していく。(後継者がいる農家が多い) ・(地区外よりは)同地区内の、親戚や隣近所で農地を維持する。
--

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

新品種等高付加価値のある作物への転換。
鳥獣被害防止対策の継続。捕獲者の確保。
基盤整備による労力の負担軽減を図りながら、農地を増やす。